



「映画 〇月〇日、区長になる女。」上映会報告 —市長選挙の重要性を考える

5月25日投開票のさいたま市長選挙が近づいています。これまで学習会で、与野中央公園に強行に進められようとしているアリーナ建設や、小中学校の統廃合と一緒に進められている義務教育学校などなど。さいたま市がいかにか市民の声を聞かず事業を進める構造になっているかについて確認してきました。計画性がなく、地域の文化性破壊となり、住民にとっての悪影響が言われています。



このような政治的悪しき状況を改革した良き前例として2022年6月19日の杉並区長選があります。杉並区でも自然を壊し、住民に立ち退きを強制するような住民

無視の道路計画等が進められようとしていました。そのあり方に反対した区民が候補者を立て区長選で勝利。杉並区は変わってきました。

私たちも今のさいたま市のあり方を変えていきたい、そんな思いで、この杉並区長選の活動を映像化したドキュメンタリー映画「映画〇月〇日、区長になる女。」の上映会を2月2日プラザウエストにて行いました。上映会から大分経ってしまいましたが、さいたま市長選が目の前に近づいてきたこの時期であるからこそ報告いたします。もう一度、市長選の重要性について自らも認識しなければと思っています。



●上映会報告・開催の経過と活動

この上映会は、運営スタッフの内藤さんから提案があって実現しました。主催も「桜区平和と暮らしをまもる会」としてではなく、「上映実行委員会」として、広くスタッフを募集しました。おかげで今回は特に、会場のプラザウエスト周辺地域のポスティングやポスターなど、地元の広報活動に力を入れることができました。ポスターも特大ポスターを「にじ屋」に貼っていただいたり、埼玉大学内にもチラシを置いてもらったりしました。

なので、地元の方たちの参加を期待したのですが、残念ながら当日、朝から大雪、その後は雨が降るといふ大荒れの天候となり、参加予定とされていた方も欠席にな

るなど、期待した来場者数ではありませんでした。それでも参加してくださった方は60名を超え、終えてみて、上映会を行ってよかった、この映画を観ていただけでよかったと感じています。

また、当日は上映の後に「市民不在の新アリーナ計画に反対するさいたま市民の会」の荒木和子さんとさいたま市議の中山淳一さんに、お話ししていただきました。さいたま市内で今起きている問題について、認識を深めることができましたと思います。（小高）



「桜区上映実行委員会」で中心的に活動してくれたスタッフの感想

政治に希望が持てる素晴らしい映画を観るといふ喜びだけでなく、多くの人に見てもらえる喜びも感じられたのが嬉しかった。お客様が1人2人と来てくれる度に、ビラ配りや街宣などの宣伝を頑張った甲斐があったと感じられ、やりがいがあった。（Rio）

この映画を上映したい！…と思ってすぐ小高さんに相談できてよかった～。学生の「Rio」ちゃんとも映画を見るだけじゃなく準備する側として、ポスター貼りやビラ配りなど、普段にじ屋でやっているようなことをいろんな人に協力頼みながら上映会が実現できて楽しかったです！杉並区の人たちもこんな感じだったのかな。

（内藤亜希子）

(上映会のアンケートから抜粋)

- ・岸本さとこさんととてもかっこいい！ 周りの方にも伝播していく様子に感動。思わず泣いてしまった。と同時にいろんな方に伝えたい映画。
- ・さすが杉並！区民の為の政治！ 住民の声が一番大切です。住民が税金を払って杉並区をささえている。住んでる、生きてるそれを無視はありえない。
- ・もっと市民が区政・市政・県政に目を向けるべきと思った。もう、自民政治を終わりに！
- ・数で色んなことが決まってしまうのは許せないし、納得できない！ 少数派の方がまともで正しいことは沢山ある。「ひとりの気づき」は大きいです。
- ・こういうことがあったんだということと、この事実、選挙のことを知らなかった自分。自分が住んでいる街をどうしていくかは自分なんだを痛感。
- ・一人の小さな声が大きな力につながるという希望をもつきっかけになりました。
- ・地域民主主義ということは、とても大切なことと思いました。今の市民市政は変えていかなければと思います。
- ・岸本さんの女性区長さんの誕生には区民の皆さんの応援力がすごかった。
- ・ステキな区長だなと思いました。自分が住んでいるところにもこういうさとこさんのような人が出てきてほしい！
- ・テレビや新聞などでは得ることが困難なことを伝えてくれるこうした映画は大切です。ありがとうございました。
- ・住民1人1人の意志を選挙で表に出すことが大事だと感じました。

(学習会) 今だから… 新型コロナワクチン問題 立ち止まって一緒に考えましょう

新型コロナパンデミックの時、特効薬として厚労省が接種推進してきた新型コロナワクチン。

気が付くと日本は接種回数世界1位です。

そんな中、接種後から後遺症に悩む人、歩けなくなった人、難病を発症した人など、ワクチン接種による多数の被害が明らかになってきています。厚労省の死亡認定も1000人を超えました。

学習会ではワクチンについての映像を観た後、地元に住んでおり、新型コロナワクチン接種により妻を亡くされた「繋ぐ会」(ワクチン被害者遺族の会)の方よりお話を聞きます。

日時：5月6日(火・祝) 14:00~16:00(開場13:30)

場所：土合公民館 1階 講座室 (入場無料・予約不要)

【会の活動報告】

1月 8日	事務局会議	土合公民館
1月13日	運営スタッフ会議	大久保東公民館
2月 2日	上映会「〇月〇日、区長になる女。」	ブラザウエスト
2月 8日	運営スタッフ会議	大久保東公民館
3月12日	事務局会議	土合公民館
3月16日	運営スタッフ会議	大久保東公民館
4月 9日	事務局会議	土合公民館
4月19日	運営スタッフ会議	大久保東公民館



【これからの予定】

5月 6日	上映会「新型コロナワクチン問題」	土合公民館
5月11日	運営スタッフ会議	土合公民館
7月27日	学習会「はだしのゲン」から学ぼう	土合公民館
8月23日	学習会「はだしのゲン」から学ぼう	ブラザウエスト
8月23~24日	原爆絵画展	ブラザウエスト

桜区平和と暮らしをまもる会 ホームページ

- ・パソコンでは『桜区平和』で検索 <http://spa.g1.xrea.com/>
- ・スマホでは右のQRコードから <http://spa.g1.xrea.com/smh/>



振込口座：ゆうちょ銀行
口座番号：00270-8-104990
加入者名：桜区平和と暮らしをまもる会
年会費：1,000円(カンパ大歓迎)
振込手数料はご負担ください

発行：桜区平和と暮らしをまもる会
(旧：桜区平和を考える会)
(連絡先)
090-8588-4966(今井)
090-4433-7092(小高)